



いのちを守る防災CAMP事業

いのちの体験教室®

テーマ 障害のある人の防災対策とは？ 【第2回】



5 / 11 日

13:00~14:30

那須塩原市図書館みるる

JR黒磯駅西口前

発災直後の“食えると障害”をテーマにしたワークショップ、実際に自分で防災食を調理して、食べる “いのちを守る@防災クッキング”を実施します。この“ミニ防災体験”を通じ、いつ来てもおかしくない大規模災害発生時自分のいのちを守り、守りたいのちで大切な人、愛する人を守る方法について学ぶことができます。

《材料費 おひとり様1,000円》

参加申込

Tel:0287-74-5129



申込フォーム

主催：一般社団法人いのちを守る@プロジェクトJAPAN
お問い合わせ：那須町ぼうさい村「いのちの体験教室®」係 e-mail: info@imp-japan.org



いのちを守る@体験型防災クッキング ～プログラム内容～

防災3ポイントレッスン

防災を実践するときの大切な視点学ぶセッションです。知っているようで知らないことをしっかりと学び自分と大切な人を守る知識を身につけます。

防災クッキング体験

発災直後を生き抜くために「食」をテーマにして、防災カレーを加熱セットを使って、自分で調理して、自分で食べます。

防災アイテム体験

簡易トイレやサバイバルシートなどの防災アイテムにも触れます。発災直後どのような備蓄品が、本当に必要なのかを知るセッションです。

**参加対象：防災に興味がある方どなたでも
障害を持っている方
障害者支援者、ご家族も**

- ・発災直後の食とは？自分で調理、食べるに挑戦！！
- ・発災その時、障害者と共に生き抜くには？
- ・その時何が出来て、何が出来ないのか？

■プロフィール 高貝 正芳(たかがい まさよし)

阪神淡路大震災の自身の被災体験から学んだことを活かし、

受講者に自分の命と向き合うことを伝えている。危機管理及び防災関連の体験型プログラムの企画製作、実施を行う今注目の人気ファシリテーター。「いのちを守る」シリーズの防災セミナープログラムを考案し独特の演出で熱い思いを伝え、感動を巻き起こす。「いのちを守る」活動と題し、学校や企業にてセミナーを行う。この「いのちの体験教室」はヒットプログラムとして、今、話題になっている。

いのちを守る防災プロジェクト実行委員会 会長
いのちを守る@プロジェクト JAPAN 代表理事
公益財団法人文化科学教育研究会 評議員

